

# 最近の経済動向

平成31年1月号

北海道の景気動向(平成30年11月の経済指標を中心として)

緩やかに持ち直している

## ■ 鉱工業生産動向

P 1 生産活動(鉱工業生産指数)  
緩やかに持ち直している

## ■ 需要動向(消費・投資)

P 2 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、  
P 3~4 専門量販店販売額、新車登録台数)  
回復している

P 4 住宅建設(新設住宅着工戸数)  
弱い動きとなっている

P 4~5 公共工事(公共工事請負金額)  
増加している

P 5 観光(来道者数)  
緩やかに回復している

P 6 輸出入(輸出入額)  
輸出額、輸入額とも前年を上回った

## ■ 企業倒産

P 6 企業倒産(件数、負債総額)  
件数は前年と同数だが、負債総額は減少した

## ■ 雇用動向

P 7 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)  
改善が進む中、人手不足感がみられる

P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

## ■ 物価動向

P 7 物価(消費者物価指数)  
消費者物価指数は前年を上回った

## ■ 企業の業況感

P 8 企業経営者意識調査  
前期から下降している

## ■ 企業情報

P 9 企業のみなさまから伺いました

## ■ 地域の経済動向

P 11 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

## ■ 景気動向指数

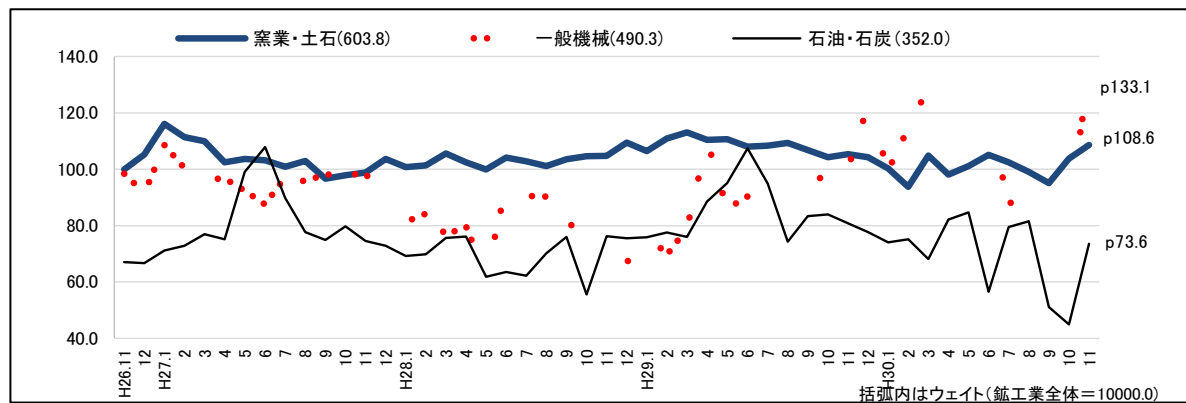
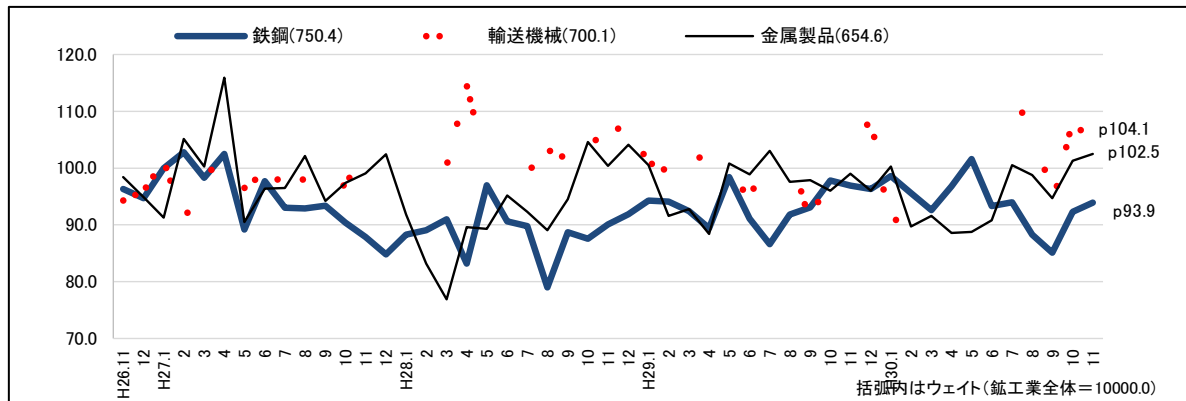
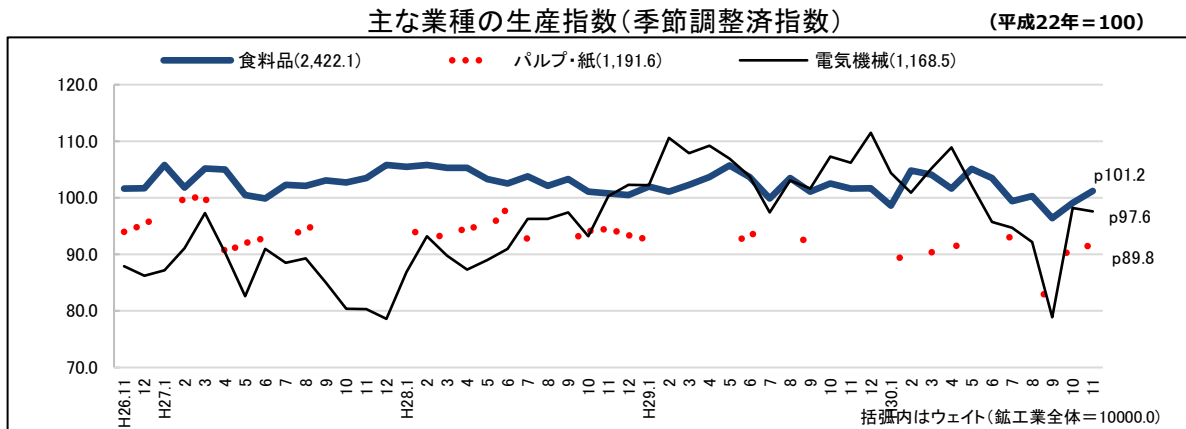
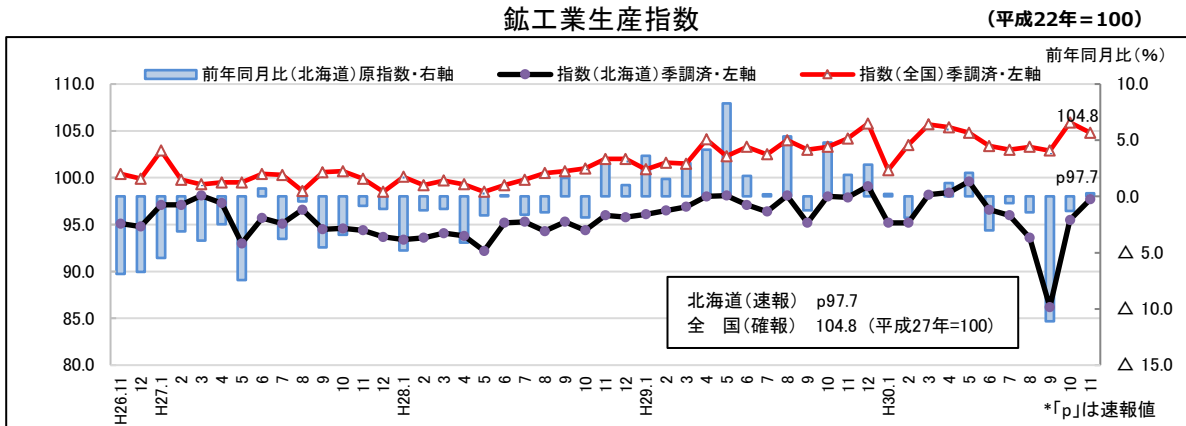
P 17 北海道の景気動向指数

北海道経済部経済企画局経済企画課

■生産活動～緩やかに持ち直している

鉱工業生産指数（11月）

鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.7で前月比+2.3%(2か月連続の上昇)であり、原指数による前年同月比は、+0.3%(4か月ぶりの上昇)となった。業種別にみると、石油・石炭製品工業等8業種が前月比上昇、パルプ・紙・紙加工品工業等8業種が前月比低下となった。



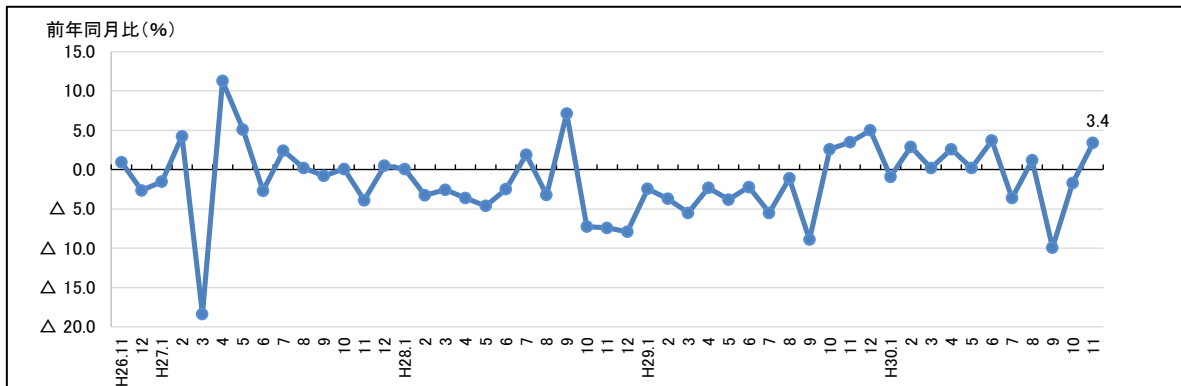
(資料: 北海道経済産業局)

## ■個人消費～回復している

### 百貨店販売額(全店ベース)(11月)

百貨店販売額は、176億円で前年同月比3.4%の増加となり、3か月ぶりに前年を上回った。品目別にみると、飲食料品は前年を下回ったものの、衣料品、身の回り品、その他は前年を上回った。

百貨店販売額の前年同月比【全店ベース】

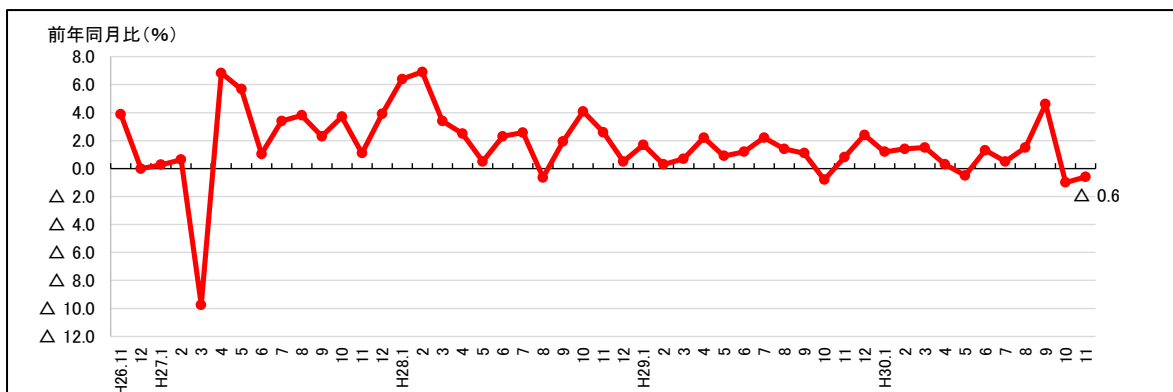


(資料：北海道経済産業局)

### スーパー販売額(全店ベース)(11月)

スーパー販売額は、621億円で前年同月比0.6%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。品目別にみると、衣料品は前年を上回ったものの、身の回り品、飲食料品、その他は前年を下回った。

スーパー販売額の前年同月比【全店ベース】

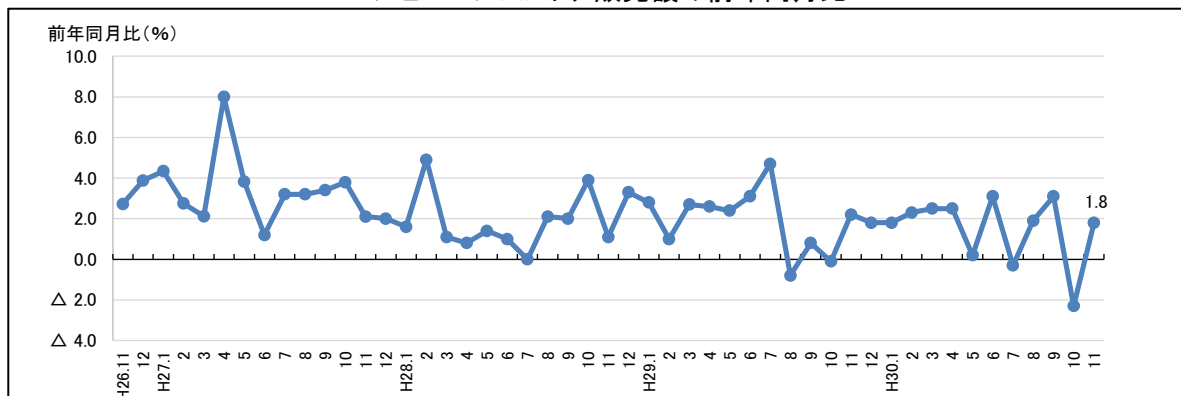


(資料：経済産業省)

### コンビニエンスストア販売額(11月)

コンビニエンスストア販売額は、462億円で前年同月比1.8%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。

コンビニエンスストア販売額の前年同月比

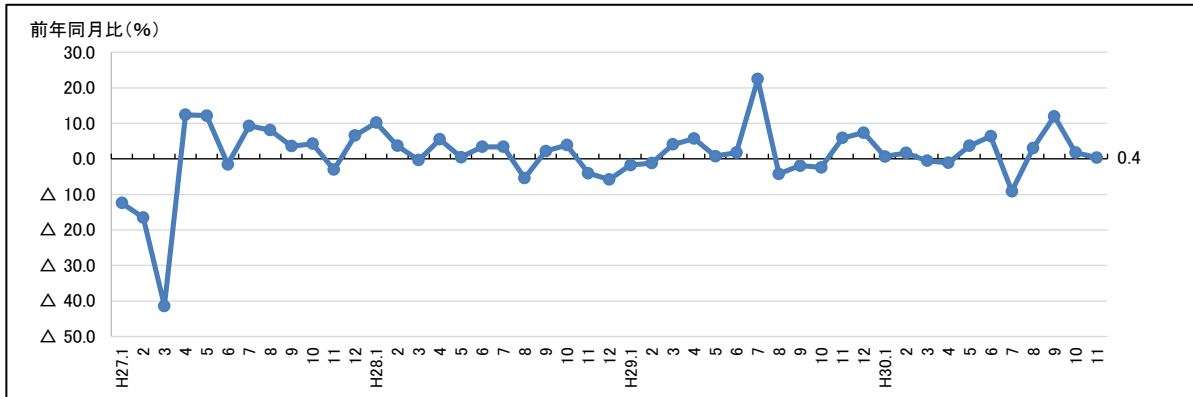


(資料：経済産業省)

## 家電大型専門店(11月)

家電大型専門店販売額は、115億円で前年同月比0.4%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額の前年同月比

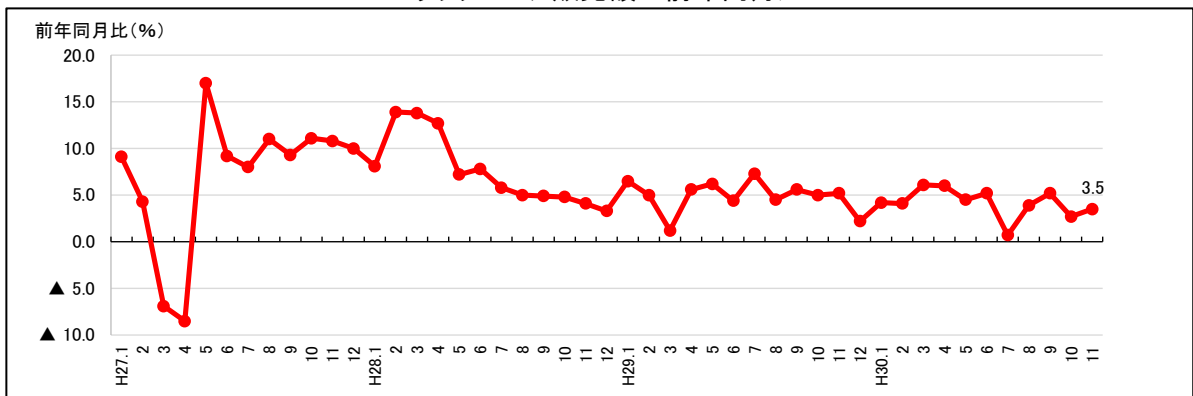


(資料：北海道経済産業局)

## ドラッグストア販売額(11月)

ドラッグストア販売額は、218億円で前年同月比3.5%の増加となり、43か月連続で前年を上回った。

ドラッグストア販売額の前年同月比

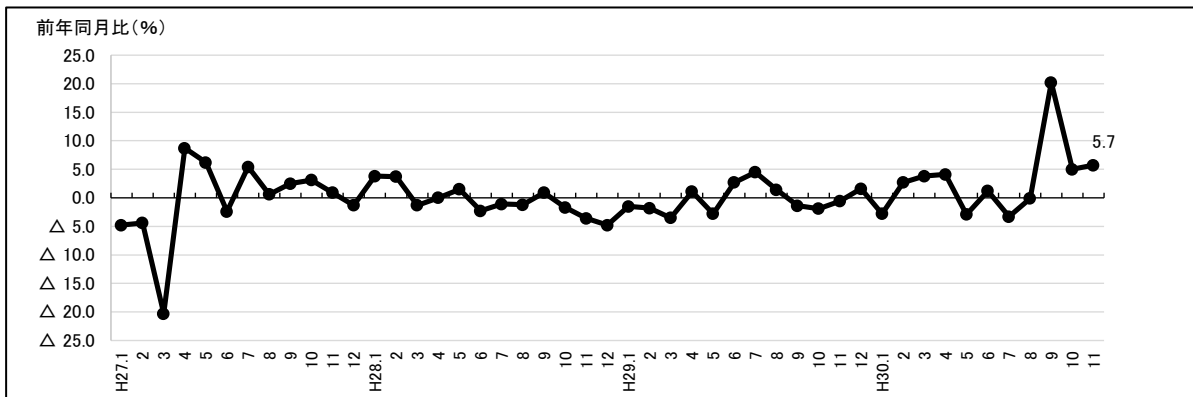


(資料：経済産業省)

## ホームセンター(11月)

ホームセンター販売額は、117億円で前年同月比5.7%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。

ホームセンター販売額の前年同月比

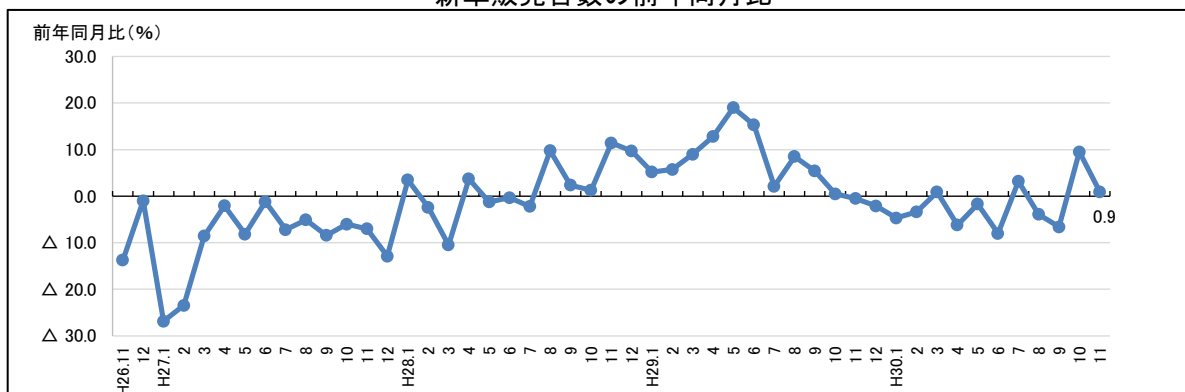


(資料：経済産業省)

## 新車登録台数（11月）

新車登録台数は、13,300台で前年同月比0.9%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は、4,707台で同14.9%の増加、小型車は、4,296台で同7.2%の減少、軽自動車は、4,297台で同3.6%の減少となった。

新車販売台数の前年同月比



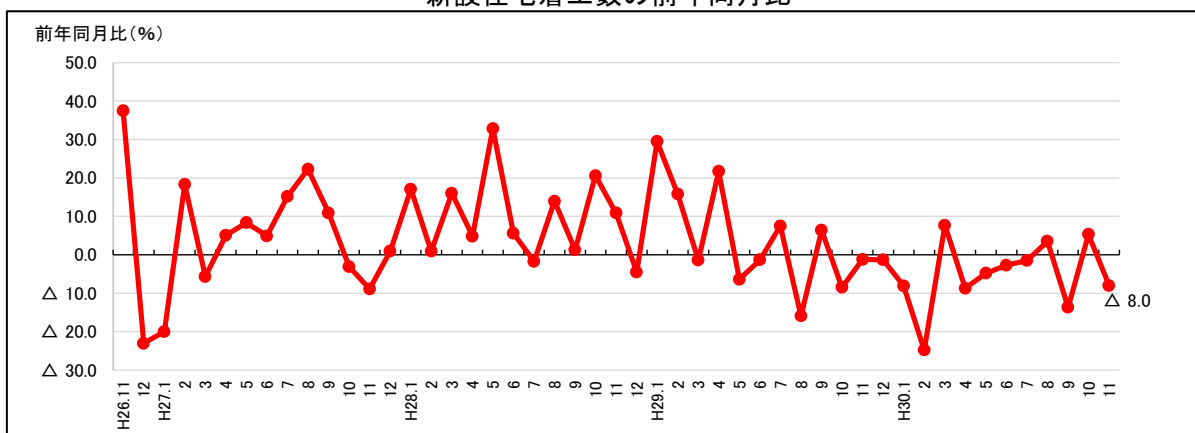
(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ

## ■住宅建設～弱い動きとなっている

### 新設住宅着工数（11月）

住宅着工数は、3,179戸で前年同月比8.0%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、持家は、1,017戸で同3.8%の減少、貸家は、1,874戸で同4.4%の減少、分譲住宅は、287戸で同30.5%の減少となった。

新設住宅着工数の前年同月比



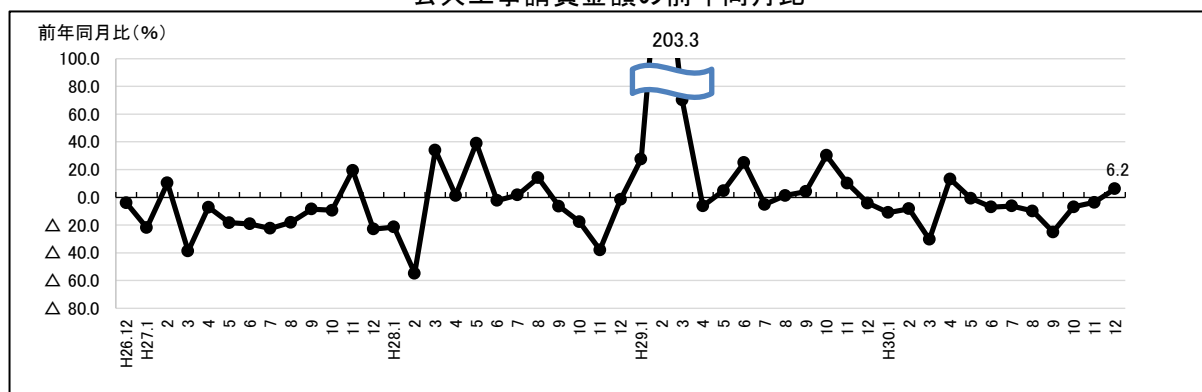
(資料：国土交通省)

## ■公共工事～増加している

### 公共工事請負金額（12月）

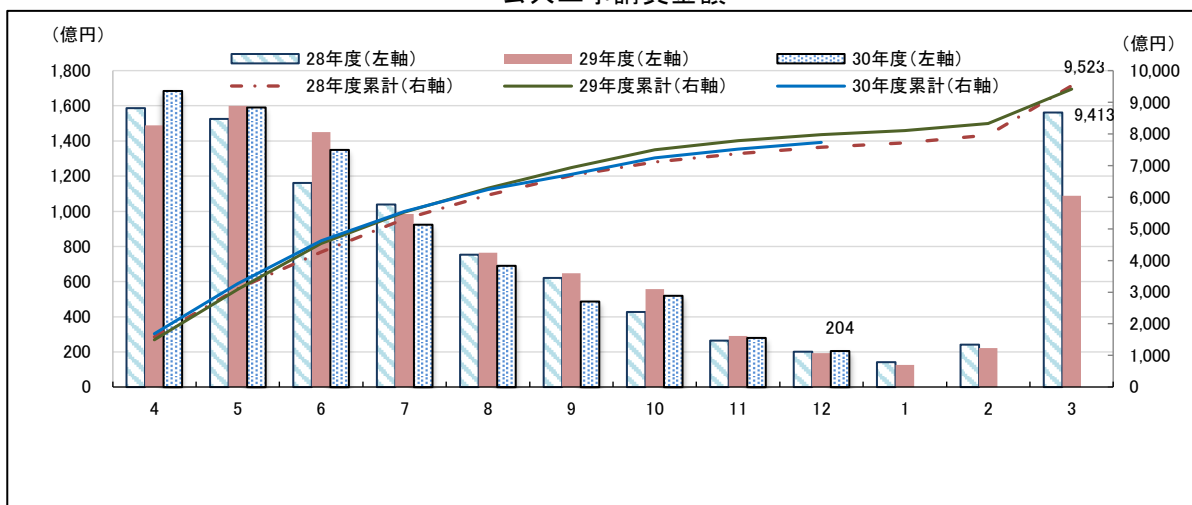
請負金額は、204億円の前年同月比6.2%の増加となり、8か月ぶりに前年を上回った。工事目的別にみると、産業基盤が69億円(全体の33.9%)、治山・治水が54億円(同26.9%)、生活基盤が41億円(同20.2%)、その他が23億円(同11.5%)、農林・水産が15億円(同7.5%)となっている。

公共工事請負金額の前年同月比



(資料：(株)北海道建設業信用保証)

### 公共工事請負金額



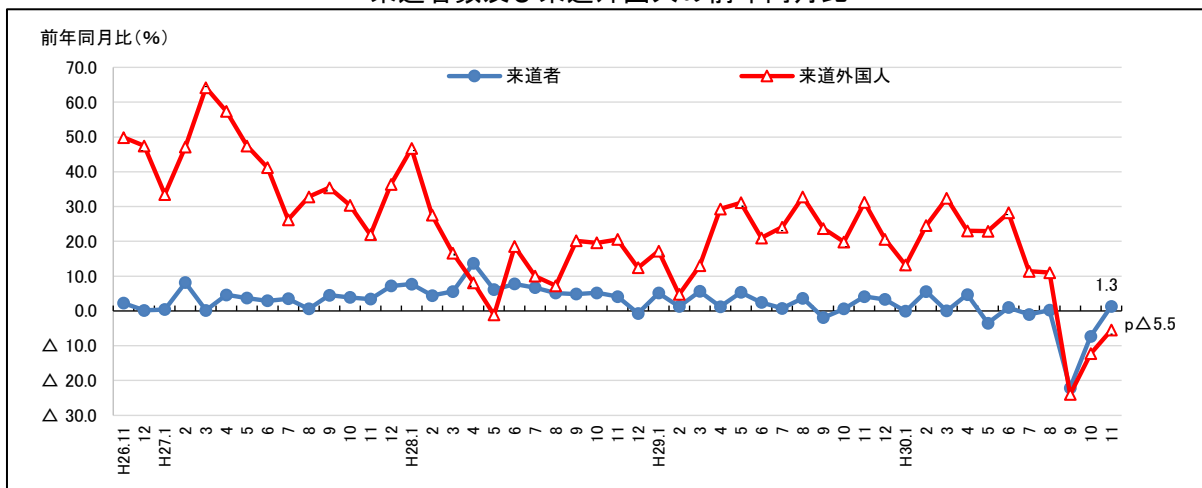
(資料：(株)北海道建設業信用保証)

## ■ 観光～緩やかに回復している

### 来道者数(11月)

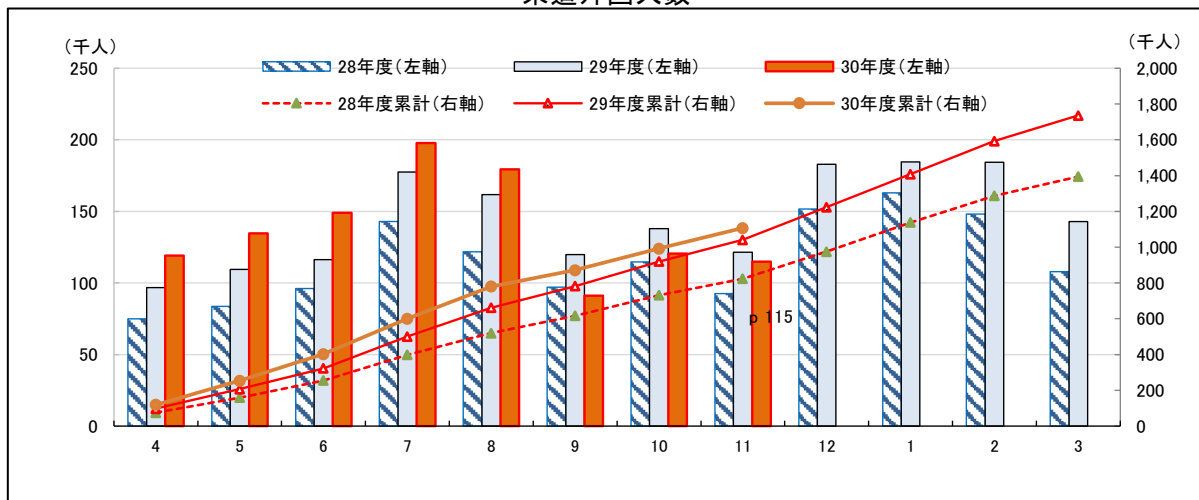
来道者数は、105万3千人で前年同月比1.3%の増加となり、3か月ぶりに前年を上回った。本道に直接入国した外国人は、11万5千人で同5.5%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。

### 来道者数及び来道外国人の前年同月比



(資料：(公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局)

### 来道外国人数



(資料：法務省入国管理局)

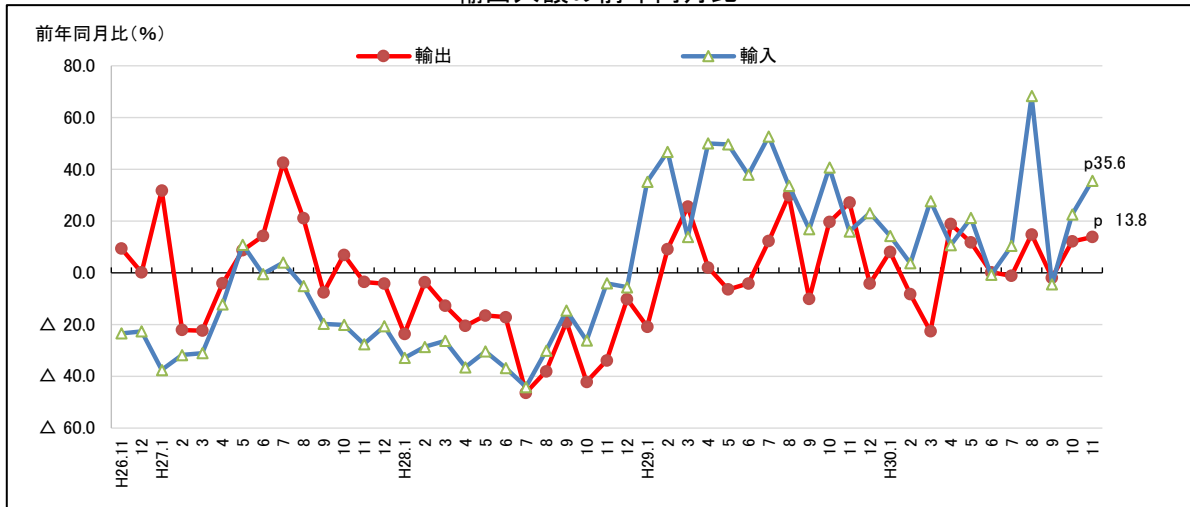
■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を上回った

輸出入額（11月）

輸出額は、372億円で前年同月比13.8%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。品目別にみると、自動車の部分品、紙・板紙などが減少したものの、船舶、有機化合物、石油製品などが増加した。

輸入額は、1,372億円で同35.6%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。品目別にみると、馬、航空機類などが減少したものの、石油製品、石炭、原油・粗油などが増加した。

輸出入額の前年同月比



(資料: 函館税関)

■企業倒産～件数は前年と同数だが、負債総額は減少した

企業倒産（12月）

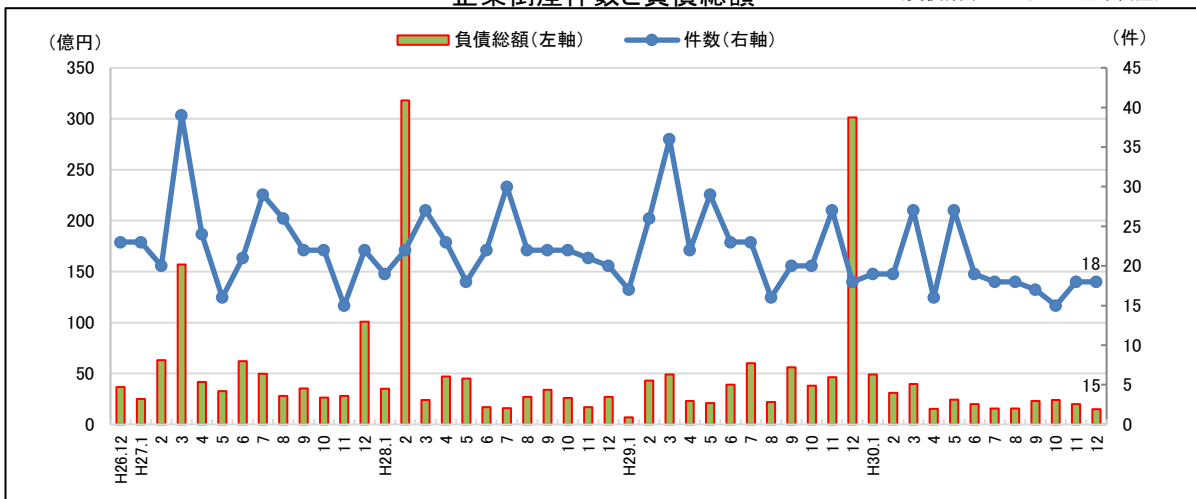
企業倒産件数は、18件で前年同月と同数となり、負債総額は、15億6百万円で同95.0%の減少となり、7か月連続で前年を下回った。

原因別でみると、販売不振が11件(61.1%)と半数以上を占めた。

業種別でみると、サービス・他が6件(33.3%)、卸売業が4件(22.2%)、建設業が3件(16.7%)と続いた。

企業倒産件数と負債総額

(負債額1,000万以上の企業倒産)



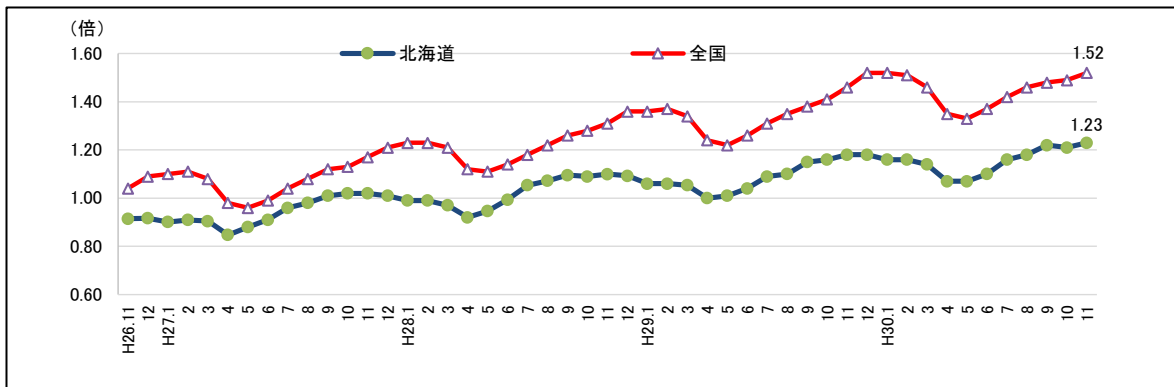
(資料: (株)東京商工リサーチ北海道支社)

## ■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

### 月間有効求人数・求職者数・有効求人倍率（11月）

月間有効求人数は、9万2,573人で前年同月比1.8%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。  
 月間有効求職者数は、7万5,550人で同2.1%の減少となり、85か月連続で前年を下回った。  
 有効求人倍率は、1.23倍で前年同月差で0.05ポイントの増加となり、106か月連続で前年を上回った。

有効求人倍率(常用)



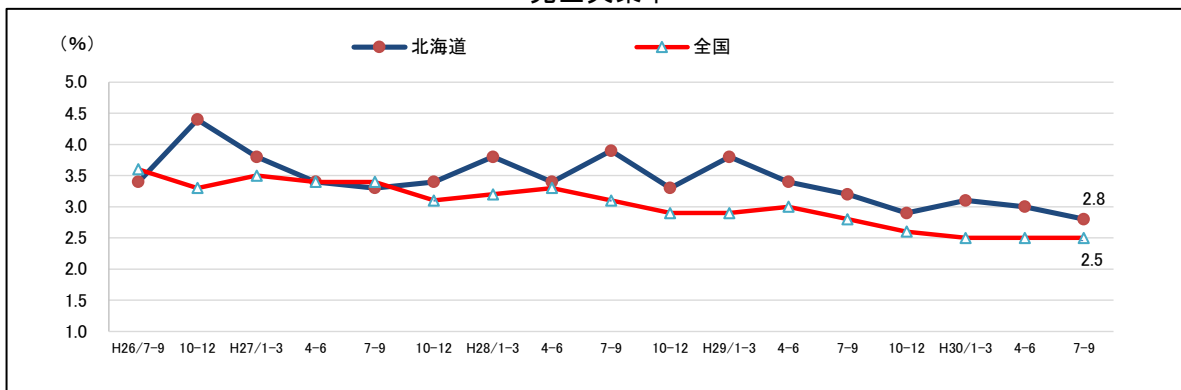
(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

## ■失 業

### 完全失業者数、完全失業率(30年7-9月期)

完全失業者数は、8万人で前年同期と比べ、1万人減少となっている。  
 完全失業率は、2.8%で前年同期と比べ、0.4ポイント低下となっている。

完全失業率



(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

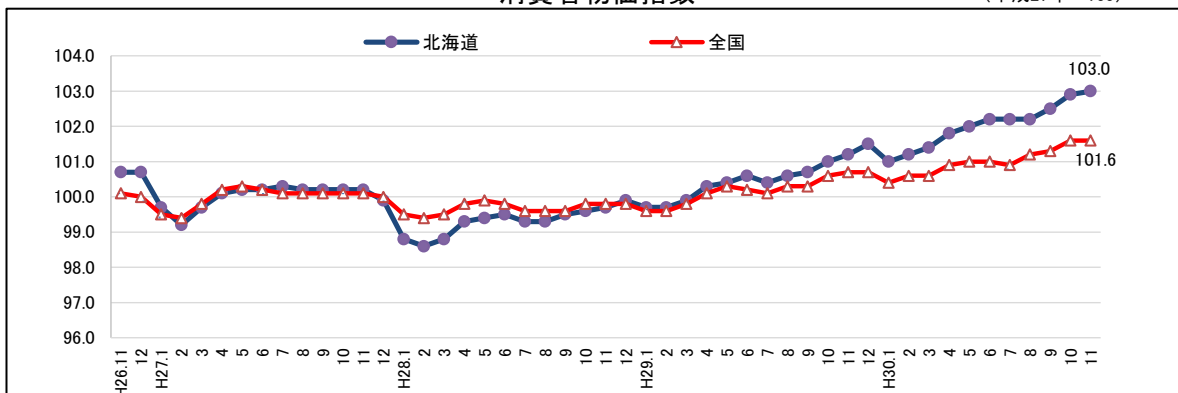
## ■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

### 消費者物価指数(生鮮食品除く)(11月)

消費者物価指数は、103.0で前年同月比1.8%の上昇となり、24か月連続で前年を上回った。

消費者物価指数

(平成27年=100)



(資料:総務省)



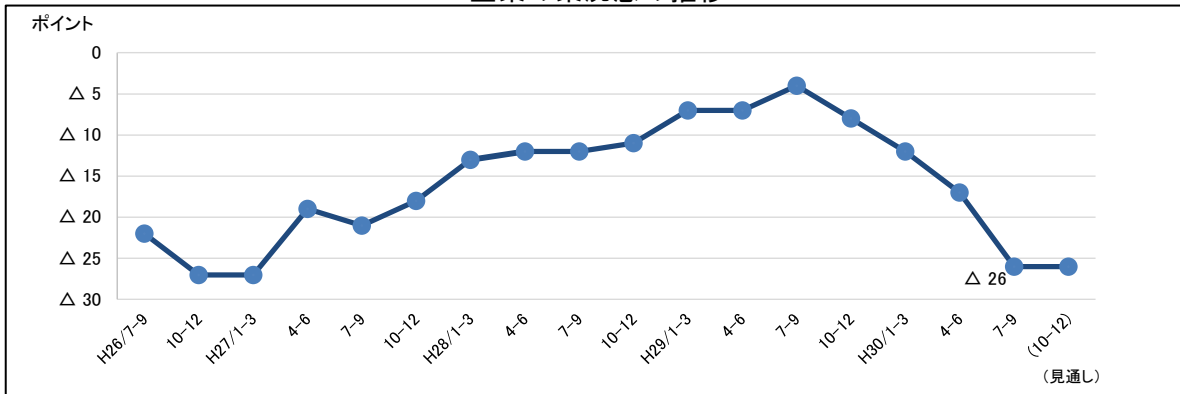
## ■企業の業況感

### 企業経営者意識調査（30年7-9月期）

今期の業況感BSIは、△26で前期から9ポイント下降した。

- ・業種別では、建設業、製造業で上昇、卸売・小売業、運輸業、サービス業で下降した。
- ・地域別では、釧路・根室で上昇、道北で横ばい、道南、道央、オホーツク、十勝で下降した。

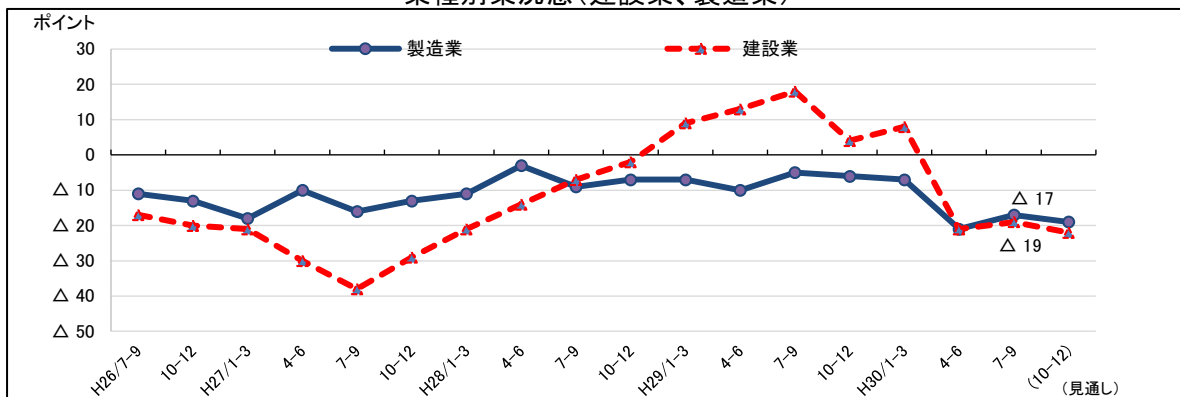
#### 企業の業況感の推移



(見通し)

(資料:北海道)

#### 業種別業況感(建設業、製造業)



(見通し)

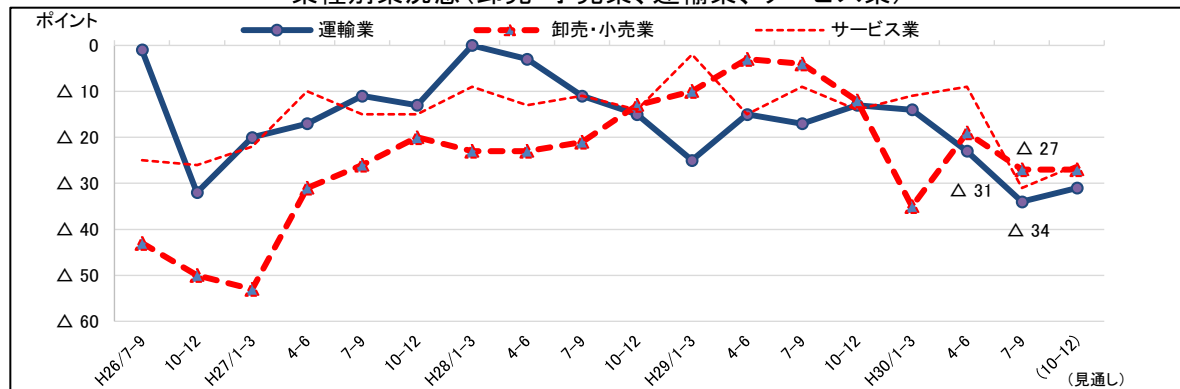
【建設業】 2ポイント上昇 (前期 △21 → 今期 △19) (資料:北海道)

- ・一般土木建築工事業や建築工事業、電気工事業、管工事業でマイナス幅が縮小
- ・塗装工事業でプラス幅が縮小、土木工事業や舗装工事業、木造建築工事業でマイナス幅が拡大

【製造業】 4ポイント上昇 (前期 △21 → 今期 △17)

- ・水産食料品製造業や建設用・建築用金属製品製造業などがプラスに転換
- ・野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業や精穀・製粉業、船舶製造・修理業、船用機関製造業などでマイナスが縮小
- ・セメント・同製品製造業やパン・菓子製造業、畜産食料品製造業などでマイナス幅が拡大

#### 業種別業況感(卸売・小売業、運輸業、サービス業)



(見通し)

【卸売・小売業】 8ポイント下降 (前期 △19 → 今期 △27) (資料:北海道)

- ・化学製品卸売業がマイナスに転換
- ・鉄鋼製品卸売業や家具・建具・じゅう器等卸売業でプラス幅が縮小
- ・農畜産物・水産物卸売業や自動車小売業、燃料小売業などでマイナス幅が拡大

【運輸業】 11ポイント下降 (前期 △23 → 今期 △34)

- ・一般乗合旅客自動車運送業や一般貸切旅客自動車運送業、一般貨物自動車運送業、冷蔵倉庫業でマイナス幅が拡大

【サービス業】 22ポイント下降 (前期 △9 → 今期 △31)

- ・産業用機械器具賃貸業でプラス幅が縮小
- ・食堂・レストラン(専門店料理を除く)や洗濯物取次業などがマイナスに転換
- ・旅館・ホテル業や自動車整備業、情報処理・提供サービス業、建築設計業などでマイナス幅が拡大

## [企業情報]

### □企業のみなさまから伺いました

#### ◆百貨店（道央地域）

##### 【天候が優れず苦戦したが、売上は堅調に推移した】

12月は、休日に天候が優れない日が多かったことが集客に影響したほか、売場面積の縮小などがあり、食料品で苦戦したが、インバウンド客に向けて、優待サービスが受けられるカードの発行を促進し、特選ブランド・化粧品等の売上が好調だったことから、売上は堅調に推移した。

また、今年の「さっぽろ雪まつり」は開催期間が春節と被っていることから、インバウンドの来道期間が短くなると考えているため、今後対策を検討する。

#### ◆スーパー（道央地域）

##### 【天候悪化の予報により買い物は前倒しの動き】

12月は、振替休日の関係で祝日が1日多く、客数、客単価、売上ともに前年並みとなった。

年末に天候が大きく崩れるとの予報により、天気が悪くなる前に年末年始の買い物を済ませようと、客足に少し前倒しの動きが見られた。

好調だったギフトについては、前年並みに落ち着いたものの、クリスマスケーキやお節の売り上げが好調となった。

#### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

##### 【Xmasケーキやおせち料理の予約が好調】

12月は、局地的な大雪や年末の悪天候など天候の影響による客足のマイナス要因はあったが、クリスマスケーキやおせち料理などの予約が好調に推移したこともあり、月全体では前年並みとなった。

また、観光地では、震災の影響がほぼ感じられないレベルまで客足が回復している。

#### ◆菓子製造業（道央地域）

##### 【最近の売上状況】

12月の売上は、新規に開店した店舗が好調だったことや、比較的、外出しやすい天候に恵まれたことで、客足が伸び、売上は前年同月を上回った。

##### 【製造コストの上昇】

原材料の小麦、卵、乳製品の仕入価格が上がっていることが一番大きいですが、その上、電気代の高止まりや人件費も上がっており、製造コストは上がる一方、既存製品への価格転嫁は難しい。

##### 【今後の取組】

製造コストが上がる中、利益をだすためには売上を伸ばすしかないため、北海道産の原材料にこだわり、付加価値のあるブランド商品の販売を国内客や外国人観光客向けに強化していく。

#### ◆宿泊業（道央地域）

##### 【最近の宿泊状況】

12月の宿泊客数は、「ふっこう割」の影響で11月から国内客を中心に前年並に回復が続いている。

外国人客は、地震後に前年比で全体的に減少しており、特に韓国人観光客が減少している。

一方、LCCの直行便就航の効果もあり、タイ、シンガポール、ベトナムなど東南アジアからの観光客が増加している。

##### 【先行き】

1～2月の宿泊予約数は、引き続き「ふっこう割」の影響もあり順調となっている。

特に今年は、雪まつりと春節が重なることから、2月上旬～中旬にかけてさらに混み合うと思われる。

**【人手不足が顕著】**

清掃要員や配膳スタッフが集まらない状況。12月は忘年会で多数の宴会があったが、サービスの人手確保に大変苦勞をした。札幌市内では、賃上げをするなど、人手確保の競争をしている状況。

◆建設業（道央地域）

---

**【最近の売上状況】**

平成30年の売上状況は、新幹線の札幌延伸に伴う関連事業、マンション事業、ダム事業などがあり、前年比で横ばいだった。

胆振東部地震の復興工事が始まってきており、春以降、増加する見込み。

公共工事が横ばいで工事量の増加が期待できない中、マンションやホテルなど民間の大型工事の受注を目指したい。

**【人材不足の常態化】**

十勝地域で災害復興工事の際は、人材不足で、入札に参加できなかった。

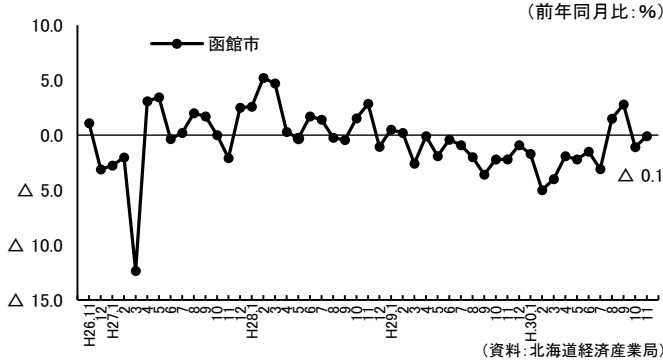
若手社員の人材育成や情報通信技術（ICT）を活用した施工で、生産性の向上や品質確保へ対応できる人材の育成が大切。

[地域の経済動向]

■道南地域(渡島、檜山)

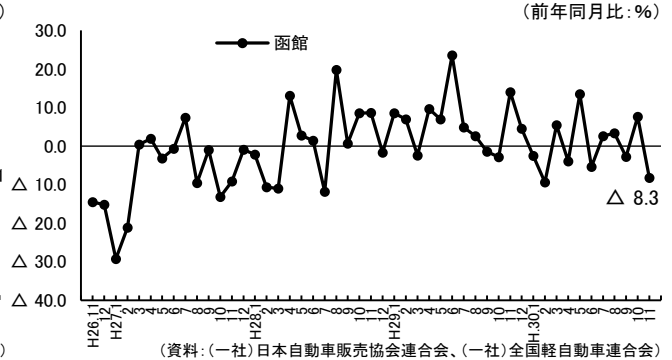
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(11月)

2か月連続で前年を下回った



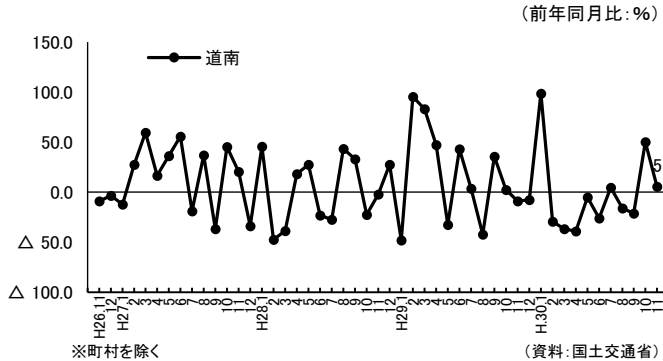
◆新車登録台数(乗用車)(11月)

2か月ぶりに前年を下回った



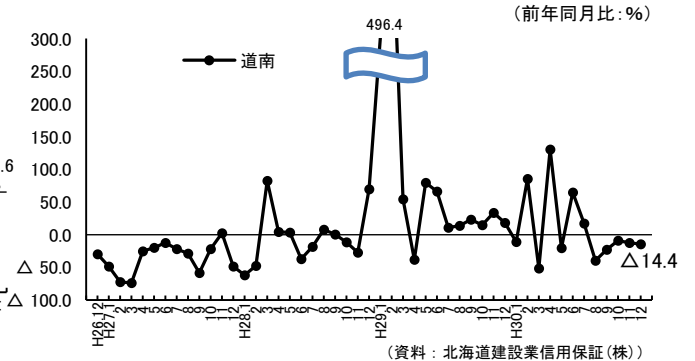
◆新設住宅着工戸数(11月)

2か月連続で前年を上回った



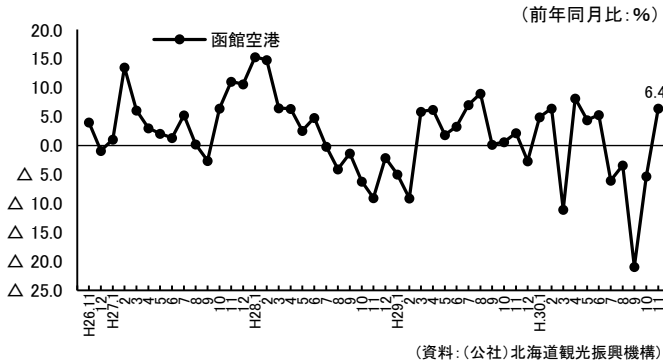
◆公共工事請負金額(12月)

5か月連続で前年を下回った



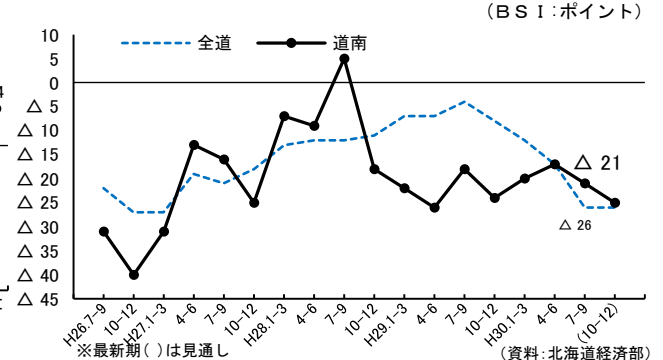
◆航空機利用による来道者数(着別)(11月)

5か月ぶりに前年を上回った



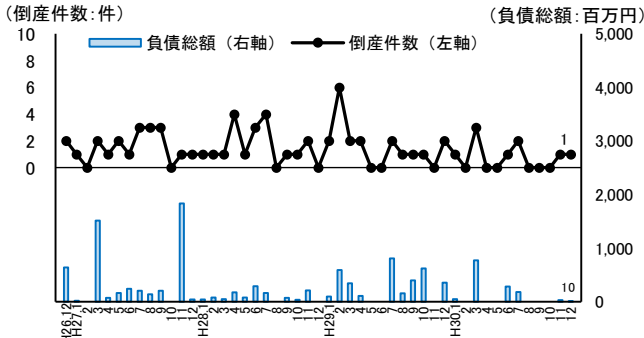
◆企業の業況感(7-9月期)

前期からマイナス幅が拡大した



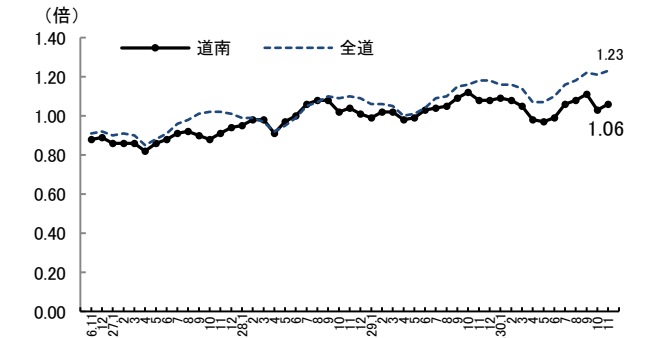
◆企業倒産件数・負債総額(12月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(11月)

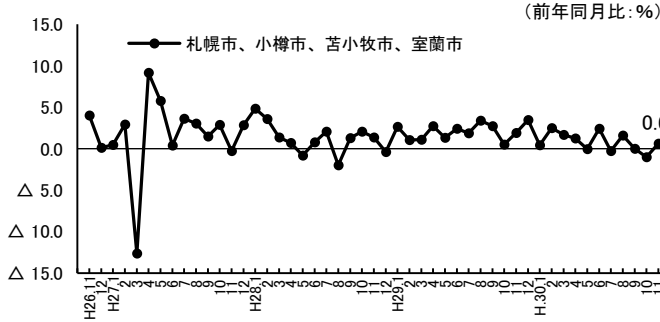
2か月連続で前年を下回った



## ■道央地域（石狩、空知、後志、胆振、日高）

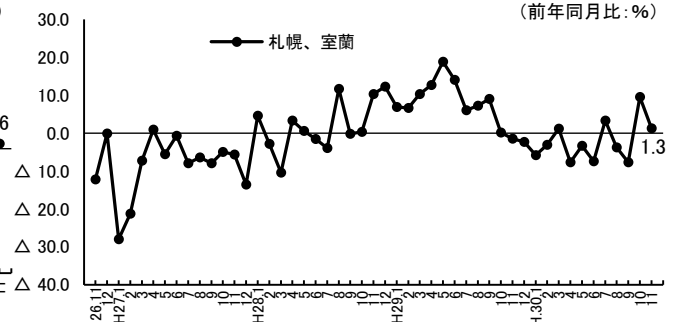
### ◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(11月)

3か月ぶりに前年を上回った



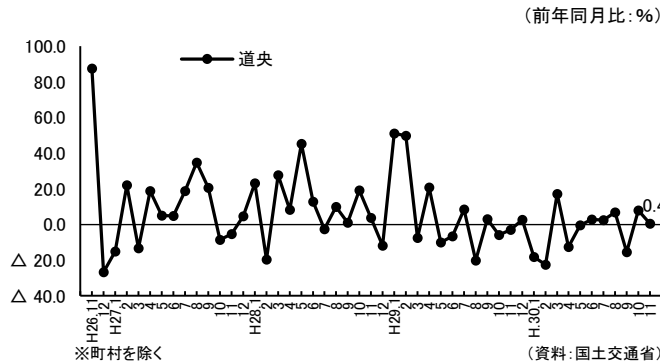
### ◆新車登録台数(乗用車)(11月)

2か月連続で前年を上回った



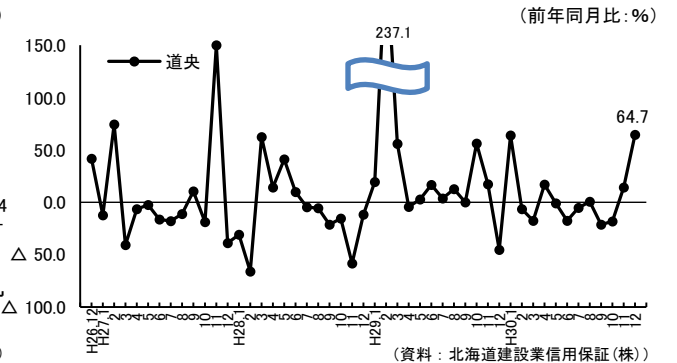
### ◆新設住宅着工戸数(11月)

2か月連続で前年を上回った



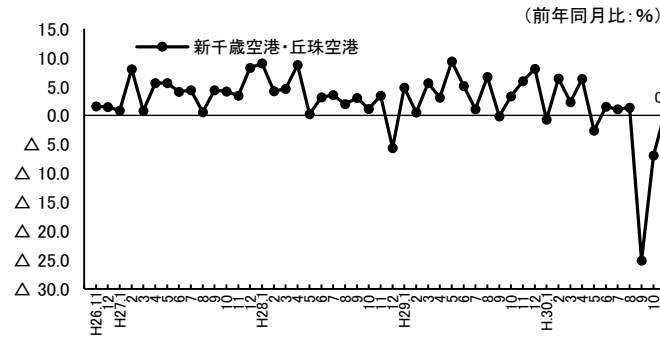
### ◆公共工事請負金額(12月)

2か月連続で前年を上回った



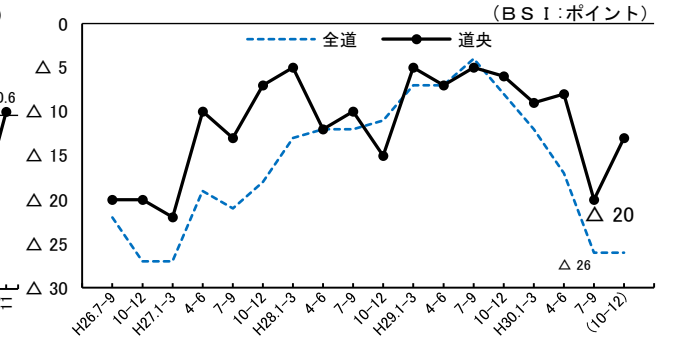
### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)

3か月ぶりに前年を上回った



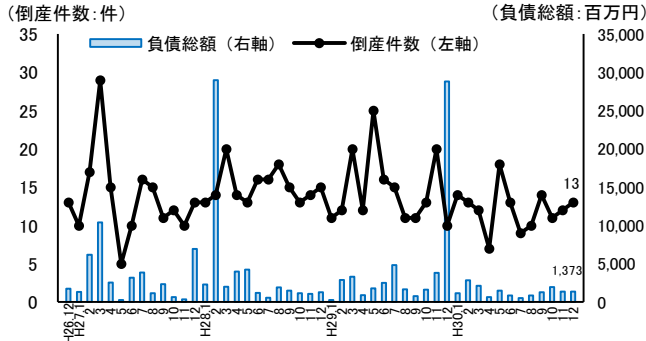
### ◆企業の業況感(7-9月期)

前期からマイナス幅が拡大した



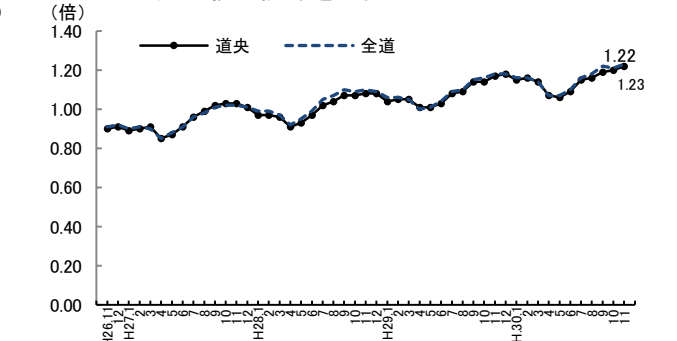
### ◆企業倒産件数・負債総額(12月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



### ◆有効求人倍率(常用)(11月)

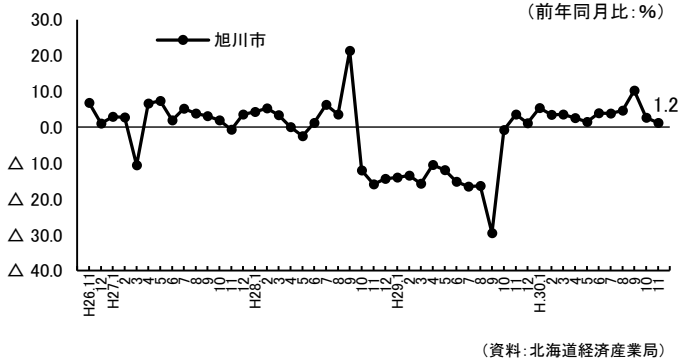
105か月連続で前年を上回った



# 道北地域(留萌、上川、宗谷)

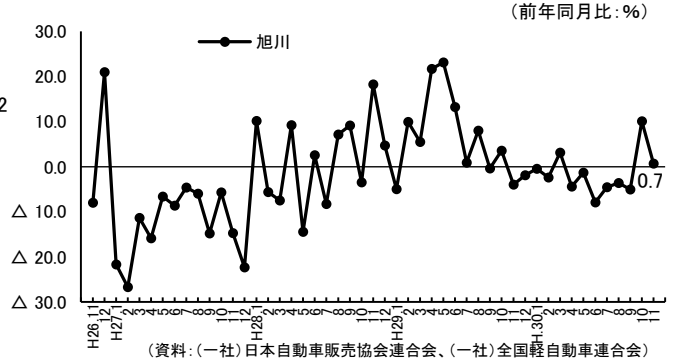
## ◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(11月)

13か月連続で前年を上回った



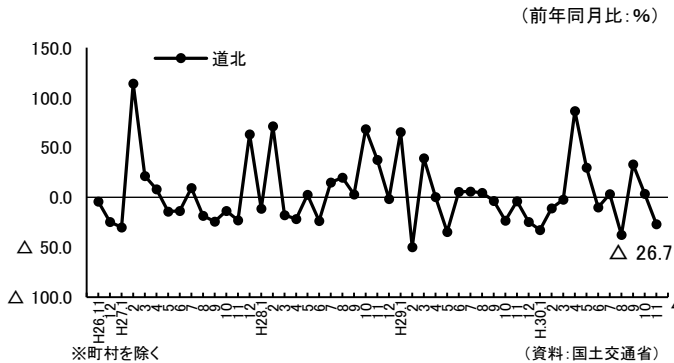
## ◆新車登録台数(乗用車)(11月)

2か月連続で前年を上回った



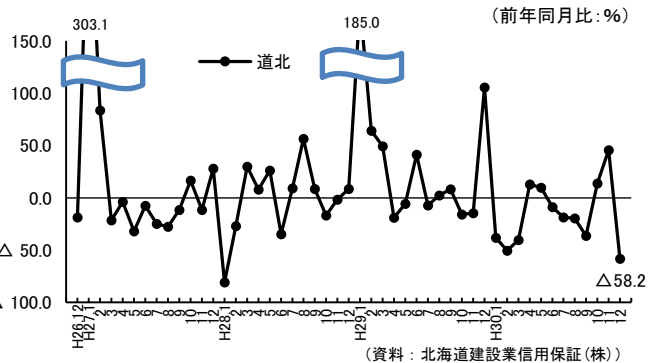
## ◆新設住宅着工戸数(11月)

3か月ぶりに前年を下回った



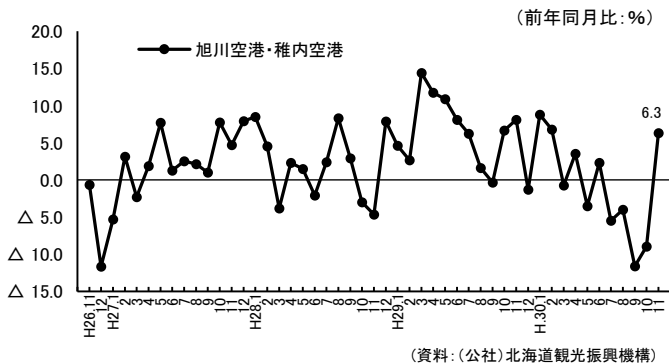
## ◆公共工事請負金額(12月)

3か月ぶりに前年を下回った



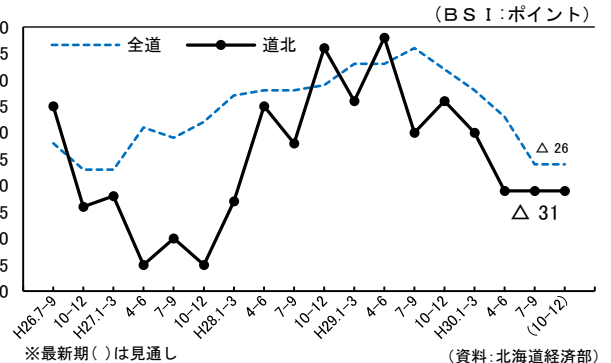
## ◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)

5か月ぶりに前年を上回った



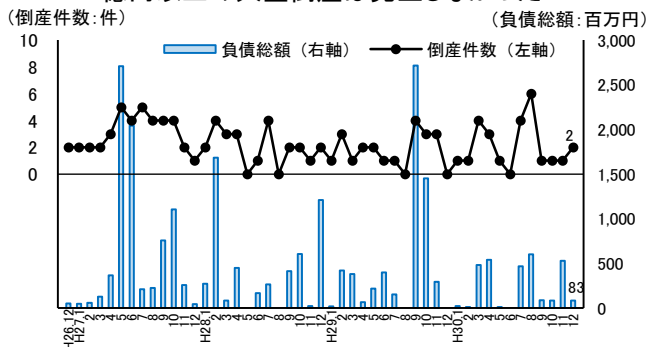
## ◆企業の業況感(7-9月期)

前期と同じ水準だった



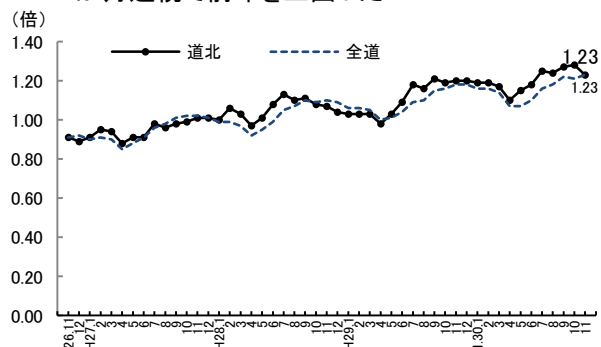
## ◆企業倒産件数・負債総額(12月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



## ◆有効求人倍率(常用)(11月)

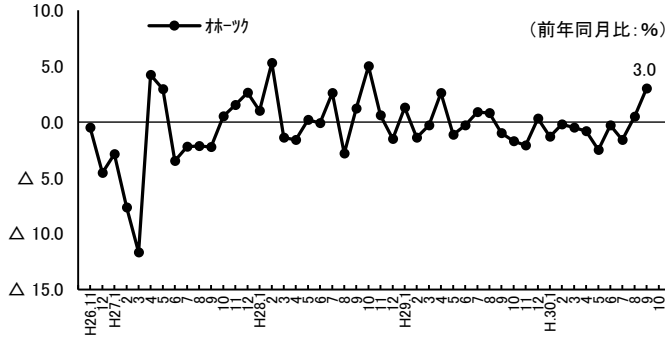
20か月連続で前年を上回った



# オホーツク地域

## ◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(9月)

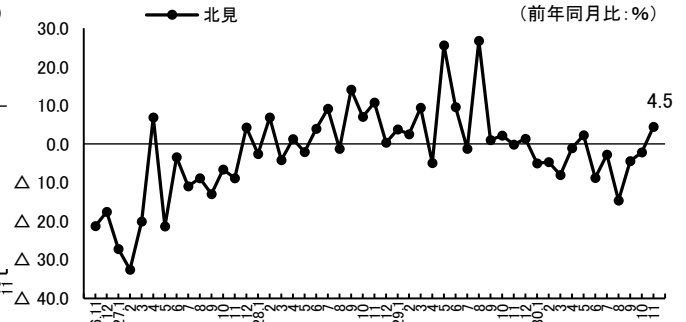
2か月連続で前年を上回った



(資料:北海道財務局北見出張所)

## ◆新車登録台数(乗用車)(11月)

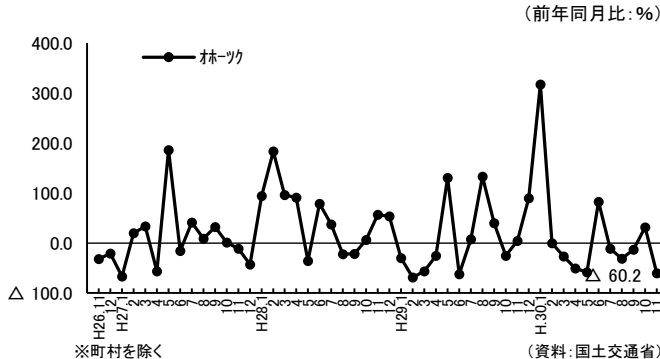
6か月ぶりに前年を上回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

## ◆新設住宅着工戸数(11月)

2か月ぶりに前年を下回った

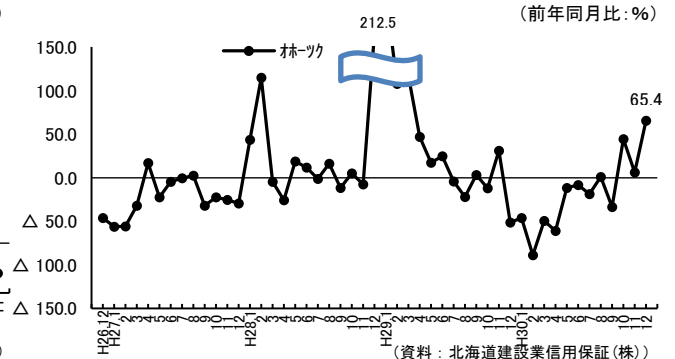


※町村を除く

(資料:国土交通省)

## ◆公共工事請負金額(12月)

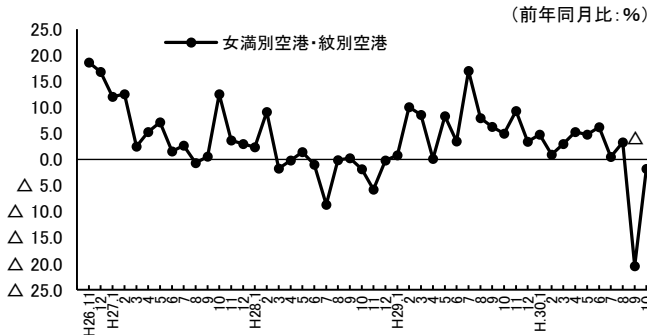
3か月連続で前年を上回った



(資料:北海道建設業信用保証(株))

## ◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)

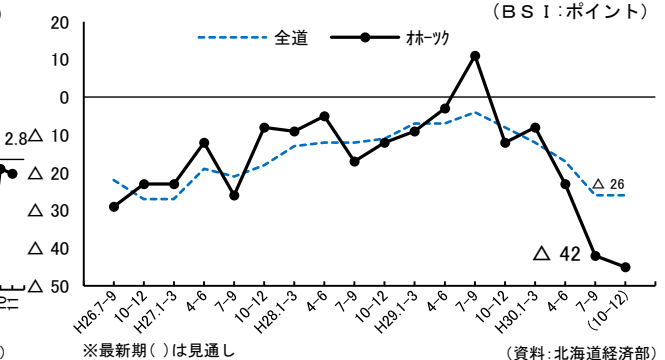
3か月連続で前年を下回った



(資料:(公社)北海道観光振興機構)

## ◆企業の業況感(7-9月期)

前期からマイナス幅が拡大した

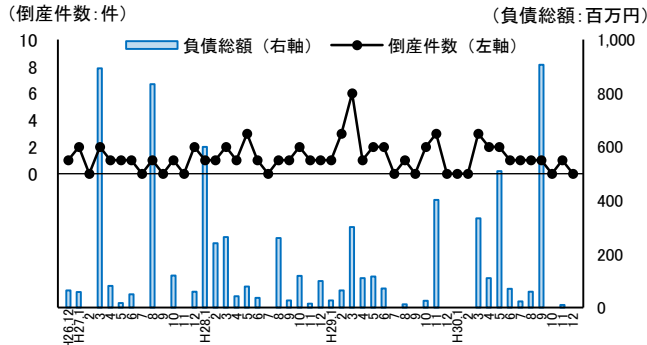


※最新期( )は見通し

(資料:北海道経済部)

## ◆企業倒産件数・負債総額(12月)

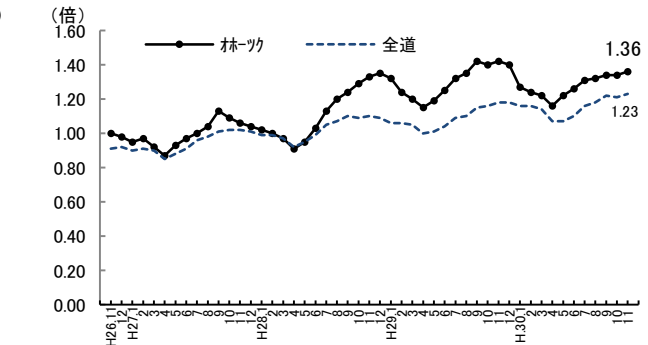
倒産は発生しなかった



(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社) - 14 -

## ◆有効求人倍率(常用)(11月)

5か月連続で前年を下回った

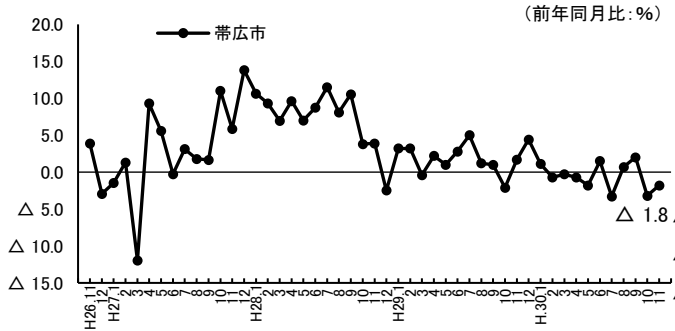


(資料:北海道労働局)

# 十勝地域

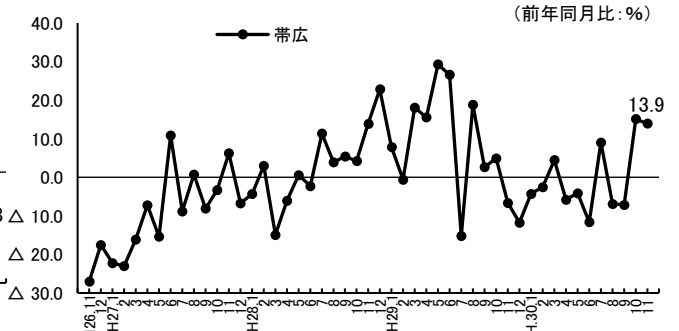
## ◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(11月)

2か月連続で前年を下回った



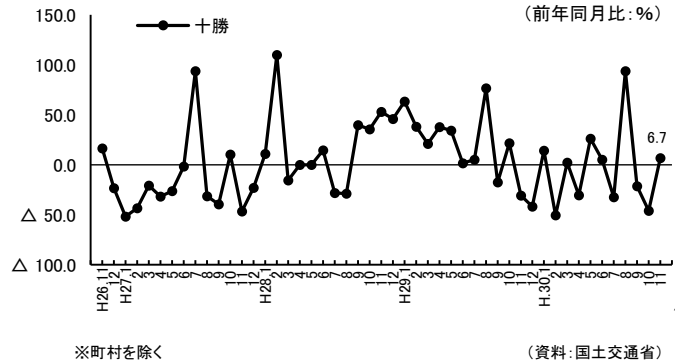
## ◆新車登録台数(乗用車)(11月)

2か月連続で前年を上回った



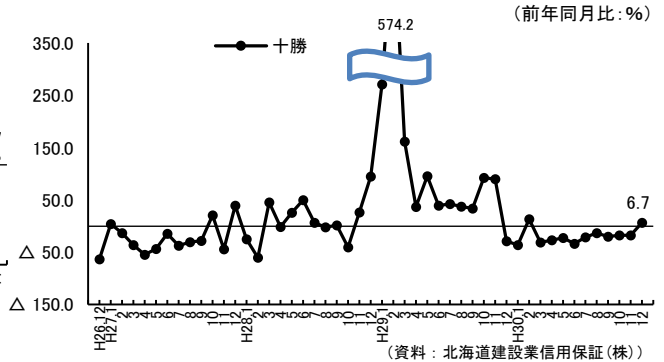
## ◆新設住宅着工戸数(11月)

3か月ぶりに前年を上回った



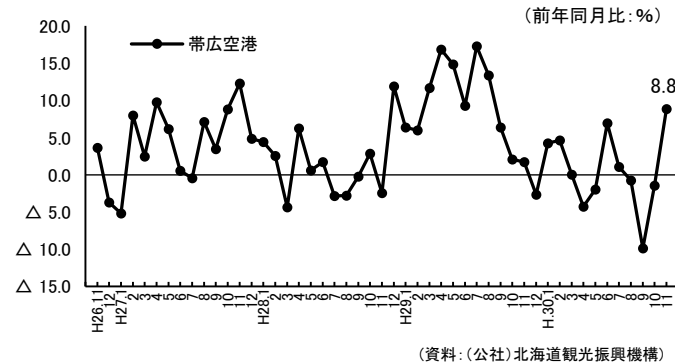
## ◆公共工事請負金額(12月)

10か月ぶりに前年を上回った



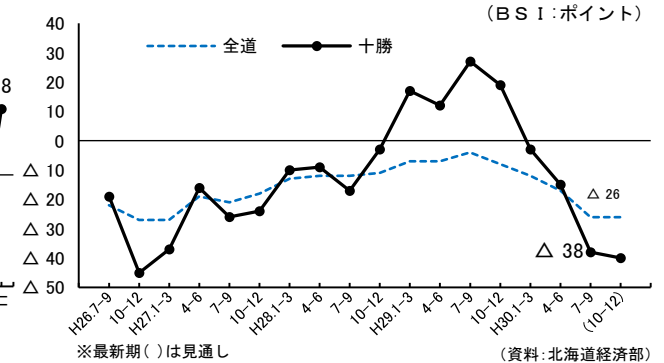
## ◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)

4か月ぶりに前年を上回った



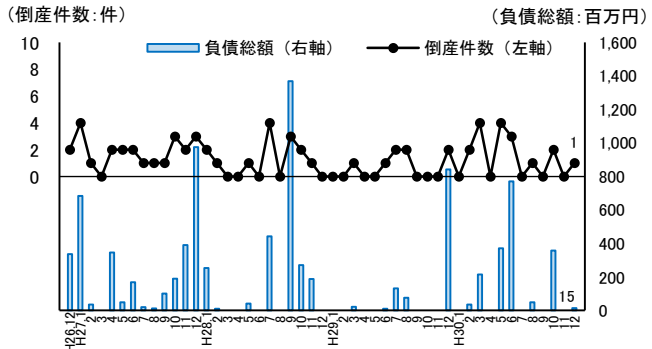
## ◆企業の業況感(7-9月期)

前期からマイナス幅が拡大した



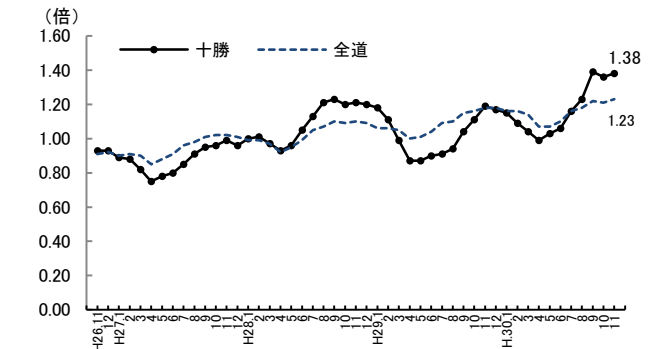
## ◆企業倒産件数・負債総額(12月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



## ◆有効求人倍率(常用)(11月)

9か月連続で前年を上回った

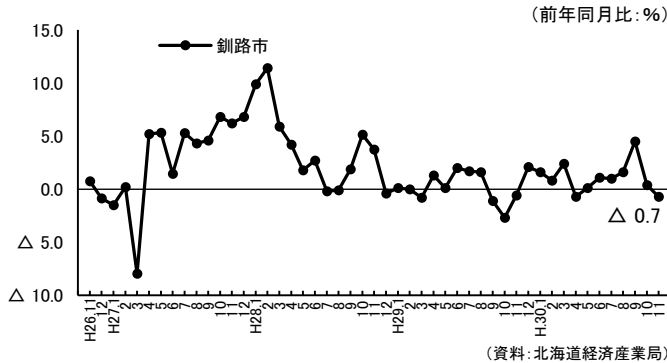




# 釧路・根室地域

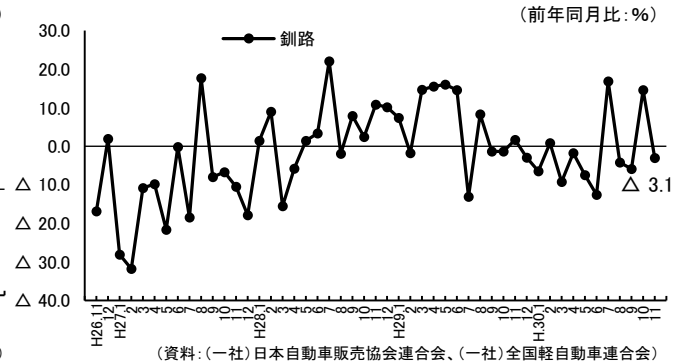
## ◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(11月)

7か月ぶりに前年を下回った



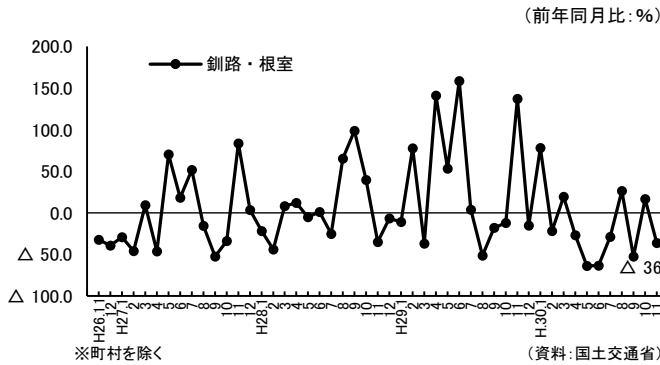
## ◆新車登録台数(乗用車)(11月)

2か月ぶりに前年を下回った



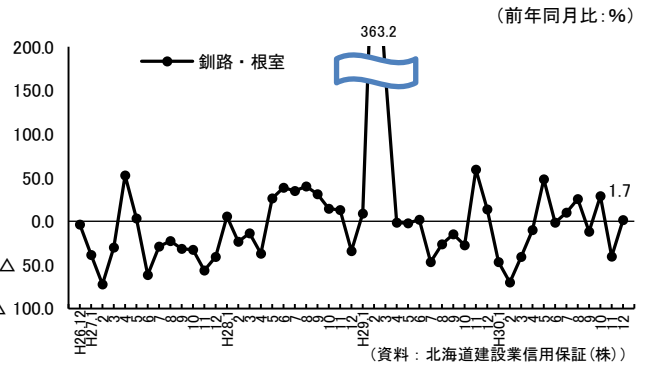
## ◆新設住宅着工戸数(11月)

2か月ぶりに前年を下回った



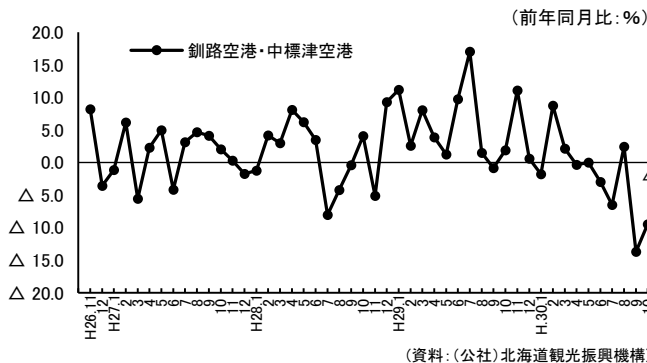
## ◆公共工事請負金額(12月)

2か月ぶりに前年を上回った



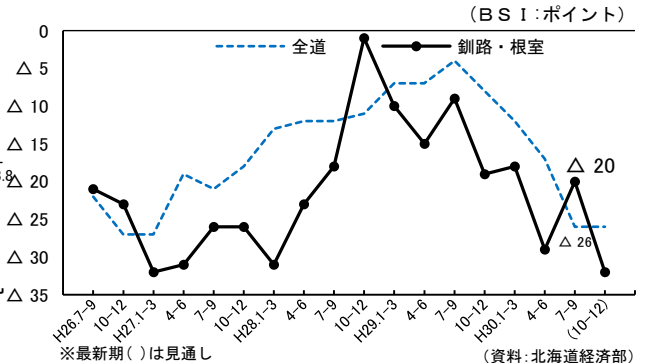
## ◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)

3か月連続で前年を下回った



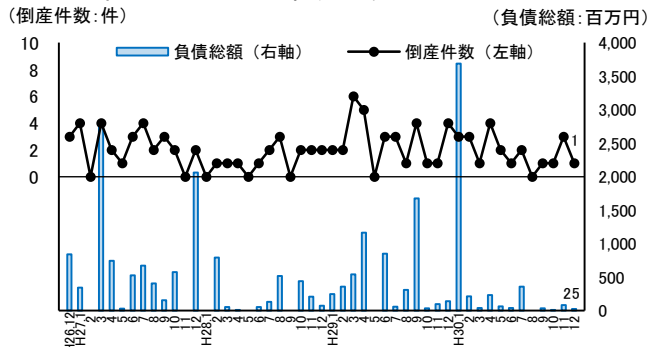
## ◆企業の業況感(7-9月期)

前期からマイナス幅が縮小した



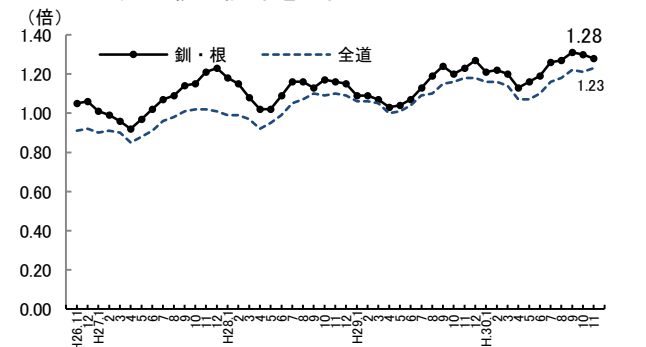
## ◆企業倒産件数・負債総額(12月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



## ◆有効求人倍率(常用)(11月)

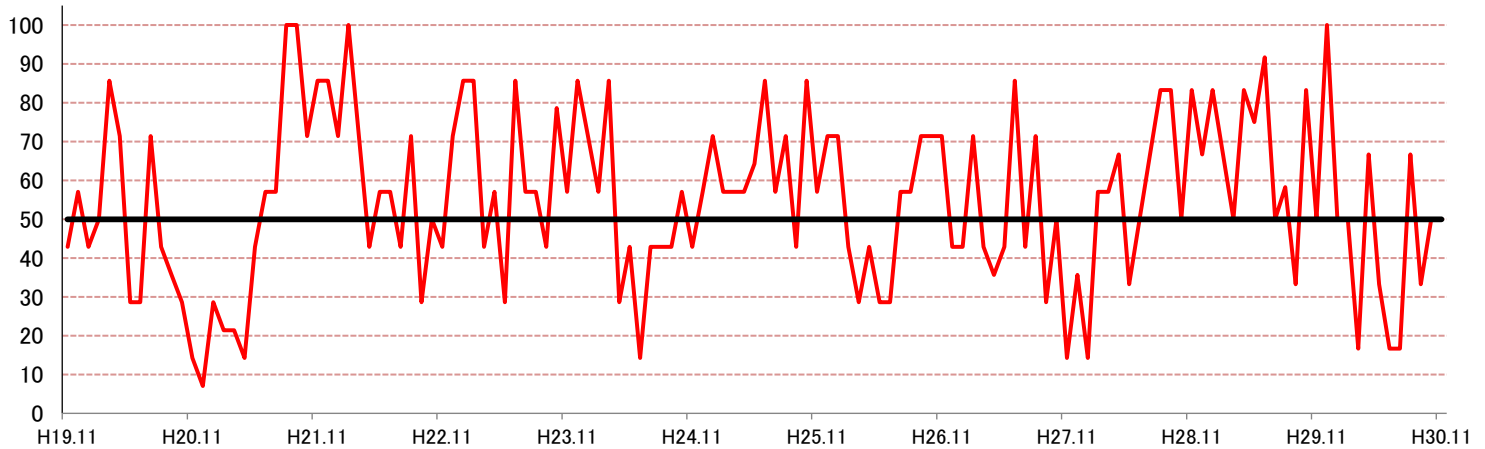
16か月連続で前年を上回った



# [景気動向指数]

## ■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名		29/ 11月	12月	30/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
先行系列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	-	-	-	+	+	+	-	+	-	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+	-
	生産指数(生産財)	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	r +	p +
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	+	+
	新設住宅着工戸数	+	-	+	-	+	-	+	-	-	-	-	+	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	-	-	-	+	+	+	-	+	+	+	+	-	+
	企業業況判断D.I.	0	0	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-
	拡張系列数	4.5	3.5	2	2	3	5	5	4	1	3	1	5	4
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	64.3	50.0	28.6	28.6	42.9	71.4	71.4	57.1	14.3	42.9	14.3	r 71.4	p 57.1
一致系列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+
	生産指数(鉱工業)	-	+	-	-	-	+	+	-	-	-	-	r -	p +
	出荷指数(生産財)	+	+	-	-	-	+	+	-	-	-	-	r -	p -
	百貨店販売額(既存店)	-	+	-	-	-	+	-	+	-	+	-	r +	p +
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	+	+	-	-	-	-	-	+	-	-	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	+	+	+	-	+	-	-	+	+	+	r +	p -
	拡張系列数	3	6	3	3	1	4	2	1	1	4	2	3	3
	採用系列数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	一致指数	50.0	100.0	50.0	50.0	16.7	66.7	33.3	16.7	16.7	66.7	33.3	r 50.0	p 50.0
	遅行系列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-
完全失業率(逆サイクル)		-	-	+	+	+	-	-	-	0	0	0	-	-
消費者物価指数(総合)		-	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-
家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)		-	-	+	-	+	-	+	-	+	+	-	-	-
生産指数(資本財)		-	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	r -	p +
拡張系列数		1	3	3	3	4	2	3	1	2.5	2.5	1.5	1	1
採用系列数		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	3
遅行指数		20.0	60.0	60.0	60.0	80.0	40.0	60.0	20.0	50.0	50.0	30.0	r 25.0	p 33.3

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向  
平成31年1月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>